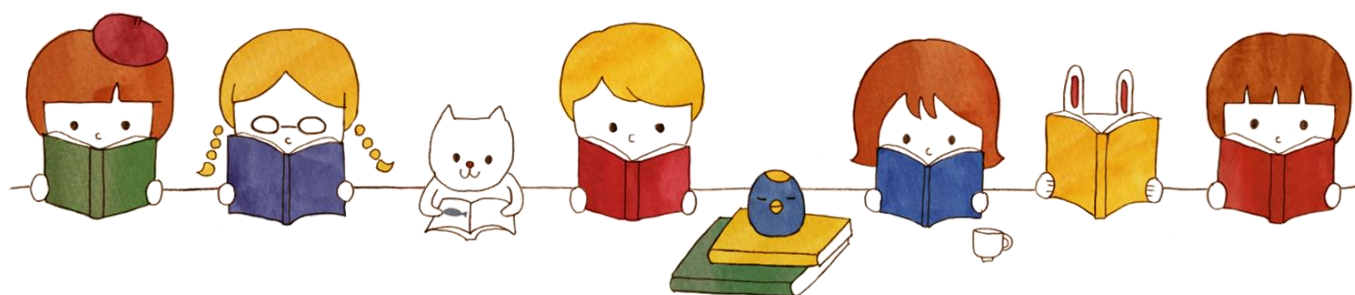


～南箕輪村子ども読書活動推進計画別冊～

子どもの読書活動取組事例集

伝えよう！つながろう！広げていこう！読書のよろこび



令和5年3月

南箕輪村

活動の目的

村内の保育園全園で、家庭でも親子で絵本を楽しんでもらえるように、週に1回保育園から絵本（図書館の絵本）の貸出をしています。

具体的な活動

通年で実施しています。保育士が絵本を村図書館から「団体貸出本」として借りてきます。各園クラスごと、その絵本を週に1回金曜日に園児が家庭へ持ち帰り、週末ご家庭で親子で絵本を楽しんでもらえるようにしています。村図書館の「団体貸出本」は、季節に合った本、年齢に合った本を中心に園児が楽しめる本を各クラスからの要望に応じて選定します。

園児の様子

- ・保育園で子どもたちが絵本を選ぶ際は、表紙が見えるように並べます。表紙を見て、子どもたちは楽しみながら絵本を選んでいます。選び終わると、友だちと絵本を見せ合うこともあります。
- ・降園の際、保護者が迎えに来ると、「これ選んだよー。」と早速、絵本を見せる子どももいます。



先生の声

- ・お気に入りの絵本を選んだ時、とてもうれしそうな表情をしています。保育園でおなじみのリズムにあわせて読む本など、家で保護者の方が読み聞かせをすると「（読み方が）ちがう！」と言うそうです。保護者の方から「どんな風に読むんですか？」と連絡帳で質問もあります。そんなやりとりも含めて、園では絵本を楽しんでいます。

保護者の声



- ・保育園で本を読んでもくれるため、内容をよくわかっていて、（娘が）よく教えてくれます。園から持って帰ってくると、すぐに「読んで！」と言ってきます。
- ・保育園で毎週借りてくる本を自分で選んできているようで、「今日はこれにしたよ」と嬉しそうに見せてくれるのが毎週の楽しみです。
- ・毎週末、保育園で絵本貸出で借りてくる絵本は、「これ先生が読んでくれて面白かったよ!」、「この絵本、保育園でよく読んでいる」というものが多く、その絵本を読みながら保育園での生活を想像するのがとても楽しいです。

学校図書館での「子どもたちのつづやき」をおたよりに掲載

活動の目的

第三次計画後、「つながる読書」への願いから活動を始めました。学校図書館での子どもたちの様子や関心がある本などを、全校の児童やご家庭の方に知ってもらうために発信しています。

具体的な活動

図書館での「子どものつぶやき」を「ほんわかエピソード」として、毎月の図書館だよりにも本の紹介と一緒に掲載しています。先生方との会話から、先生が紹介してくださった本を載せる時もあります。

児童の様子

・児童は本のことで、司書に色々と話をしてくれます。おうちの方や友だちとの本のやり取りや、本の感想などです。おたよりで紹介することで、その本を借りに図書館に来てくれる児童、先生もいます。

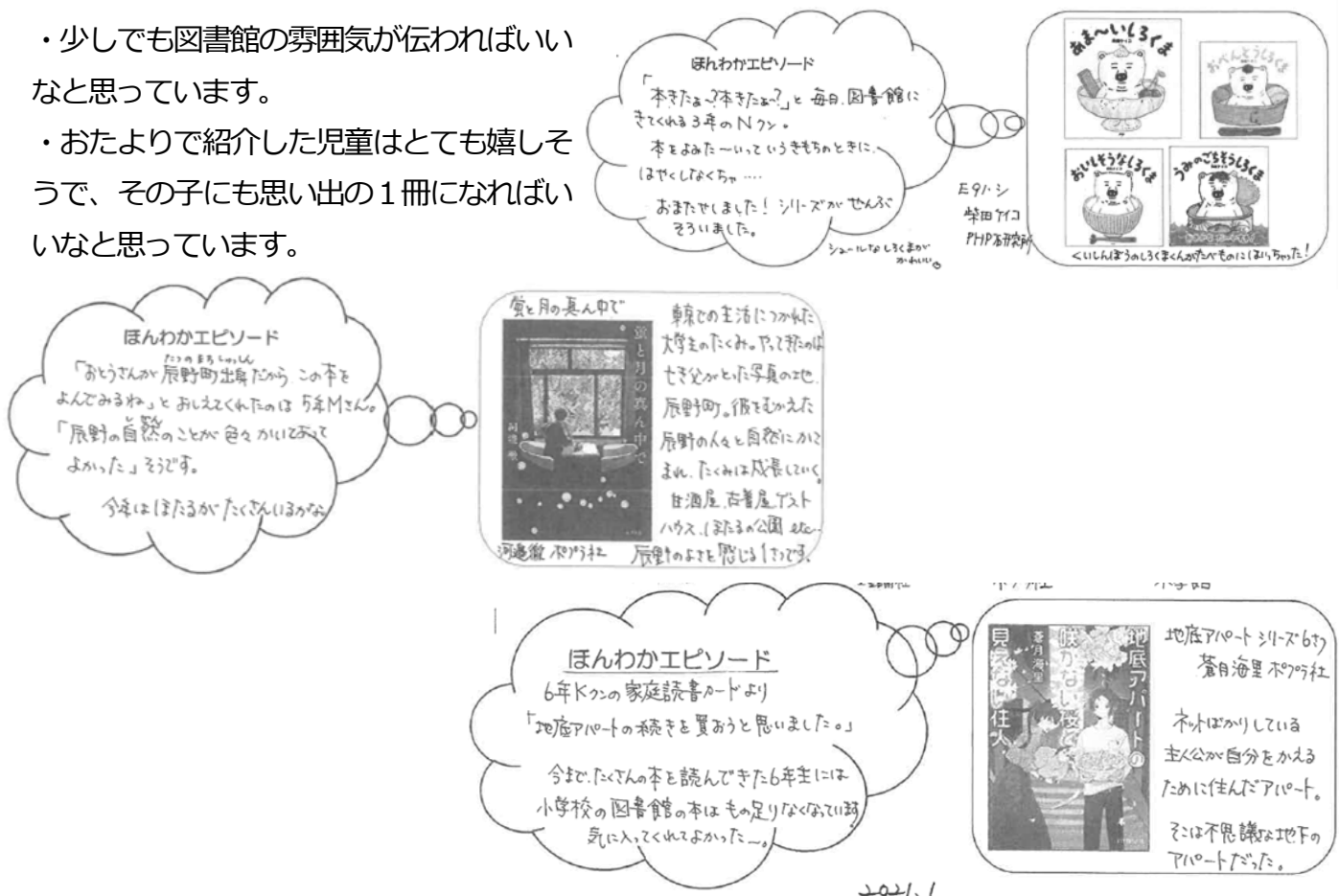
児童の声

・「おもしろいな。」「こんな本もあるんだ！」
と図書館だよりを楽しみに読んでいる子もいます。

一方で、図書館だよりは家庭で保護者に渡してしまい、読んでいないという子もいるようです。

学校図書館の声

- ・少しでも図書館の雰囲気が伝わればいいなと思っています。
- ・おたよりで紹介した児童はとても嬉しそうで、その子にも思い出の1冊になればいいなと思っています。



私のところにのこったおすすめの本1冊をイラスト入りで紹介

活動の目的

友だちのおすすめ本を知ること、読書の幅が広がって欲しいとの願いから実施しています。



具体的な活動

冬の読書旬間中に、全校児童に「私の心にのこった本」を書いてもらい、クラスごと冊子にして貸出しています。過去10年間分図書館に置き、自由に見たり借りたりできるようにしています。

児童の様子

・みんな一生懸命に紹介を書してくれます。出来上がった「私の心にのこった本」の冊子は、友だちと一緒に楽しく見えています。自分や友達の何年か前の紹介文を見たり、兄弟の紹介文を見たり、借りていくこともあります。

児童の声



・同じシリーズの本をクラスで何人も紹介していて、「この本は人気なんだなあ」と思って見えています。

・今まで自分が紹介してきた本を見て、絵は下手だけど、おもしろい本や楽しい本や悲しい本を紹介していました。自分のことだけど、振り返ると「いろんな種類の本を読んできたんだな」とおどろきました。

学校図書館の声

・「わたし、こんな絵をかいていたよ。」と、昔の1年生の頃の自分の紹介を見せに来る児童もいてほほえましいです。

・自分のクラスや気になるクラスの冊子が早く見たいと出来上がりを待っている児童が多く、楽しみにしてくれているんだなと感じています。

・先輩が自分の学年の時に紹介をした本を探して読んでいる児童もいます。過去ともつながっていると嬉しい気持ちになります。



「おうちの方からのおすすめ本リスト」

おうちの方からのおすすめ本リストの作成

活動の目的

「つながる読書」への願いから第三次計画初年度に作成しました。おうちの方からのおすすめ本をリストにしてご家庭に配布することで、ご家庭でも本のことを話題にして欲しい、興味を持った本を借りて欲しいとの願いから作ってみようと思いました。

具体的な活動

図書館だよりも、ご家庭の方に「おすすめ本がありましたら教えてください。」とお願いし、「おすすめしたいところ」や、「本にまつわる思い出」などを書いていただきました。合計200冊の本を紹介していただき、それを冊子（『おうちの方からのおすすめ本リスト』）にし、配布しました。冊子には、所蔵場所「学校図書館」「村図書館」も掲載して、興味がある人はどこでも読めるようにしました。

児童・保護者の様子

・多くの保護者の皆さんが本を紹介してくださいました。当初は冊子を持って本を借りに来てくれる児童もいました。

学校図書館の声

・たくさんの労力と協力があって作成したのですが、計画初年度だけの取組になってしまいました。増し刷りして、ずっと学校図書館に置けばよかったと反省しています。



『おうちの方からのおすすめリスト』より



ノラネコぐんだんシリーズ
作：工藤ノリコ
出：白泉社

「ドッカーン！」というお決まりのフレーズを、何度読んでも子どもたちが笑ってくれます。



いのちのたべもの
作：中川ひろたか絵：加藤休三
出：おむすび舎

なぜ選んで食べるのか、説明するのが難しいです。この本でスッと胸に落ちました。未来ある子どもに。

♪食から本に興味を持ってもらえるように♪

活動の目的

南部小学校図書館では、本に登場する食べものを給食メニューとして出して、食を通じて読んだことのない本とも出合える機会を作ることを目指しています。

具体的な活動

読書週間・読書旬間に合わせて、栄養士さんと相談し、年に5日間程度行っています。例えば、『ぐりとぐら』（作・なかがわりえこ 絵 おおむらゆりこ 福音館書店）のかすてらや、「わかったさん・こまったさん（作・寺村輝夫 絵・永井郁子 あかね書房）」シリーズのデザートやおかずが給食に出ます。また給食中に本の内容を放送し、ランチルーム前に本を並べています。

児童の様子

- ・ランチルーム前に友達と数人集まって座り、本を読んでいます。また、「借りていい？」と図書館に聞きにきて借りていく児童もいました。
- ・児童に感想を聞いてみると、「想像していた味と違って、おもしろかった。」、「『ひみつのカレーライス（井上荒野 アリス館）』」は具がゴロゴロしていておいしかった。」と高評価でした。



学校図書館の声



- ・幼い頃に絵本のイラストを見て、パクツと食べるふりをしたことが一度はあるのではないのでしょうか。夢が現実になったのが、この企画です。知っている本だからその楽しみもあれば、本は知らないけれども登場人物たちが食べたものとして本に親しみを持ってもらえるかもしれません。そうなったら、嬉しいです。

紹介した本の一部



『ぐりとぐら』
作：中川李枝子 絵：大村百合子
福音館書店



『わかったさんのアップルパイ』
作：寺村輝夫 絵：永井郁子
あかね書房



『ひみつのカレーライス』
作：井上荒野 絵：田中清代
アリス館

南箕輪村中学校図書館取組 「読み聞かせ DAY／ビブリオバトル」

活動の目的

南箕輪村中学校では、読書旬間に読書に興味を持ってもらうための取り組みとして、実施しています。

具体的な活動

読み聞かせ DAY

令和元年度、令和2年度は読み聞かせ DAY を3日間行いました。村内の読み聞かせボランティア「のはらうた」のみなさん（令和2年度は村図書館司書）、各学年の副担任の先生方をお願いし、全校一斉読み聞かせを行いました。

ビブリオバトル

令和3年度、令和4年度は校内放送によるビブリオバトルを行いました。図書委員は進行役で、全校から有志を募って6名の生徒に発表をしてもらいました。テレビ放送で実施したため、後で投票を行い「チャンプ本」が決まりました。

生徒や先生方の様子

読み聞かせ DAY

生活記録帳に感想を残してくれました。「授業より真剣に聞いていた」という先生からの声もありました。また、支援学級で読み聞かせを取り入れるなどの反応もあり、先生方の図書館利用が増えました。

ビブリオバトル

発表が終わった後、実際に図書館ではそれらの本が借りられています。図書委員会に今後も続けてほしいという意見も寄せられています。



学校図書館の声

- ・「読み聞かせ DAY」では、絵本を読んでもらって「なつかしい」「もう一度読みたい」という気持ちになる生徒も多いようで、保育園・小学校とつながってきた読み聞かせの効果を感じました。
- ・「ビブリオバトル」では校内放送を使って実施したので、全員におすすめ本を紹介することができてよかったと思います。

活動の目的

南箕輪村中学校では、先生や友達の心に残った本を知り、新たな本と出会うきっかけにもらうために図書委員会で行っています。

具体的な活動

心に残った本を1冊紹介してもらいます。図書委員が配った用紙に記入してもらい、校内に掲示します。

生徒や先生の様子

・「〇〇先生の紹介本ってこれだった？」など生徒同士で話している様子があり、掲示板を見ているようです。

学校図書館の声

・以前から実施している活動です。インターネットであらすじや口コミも読める時代ですが、身近な人の紹介本に生徒たちは興味を持ちやすいようです。今後も継続していきたいと考えています。



紹介した本の一部



『線は、僕を描く』
著：砥上裕将
講談社

映画にもなった作品です。何もなかった主人公が水墨画と出会い変わっていく物語です。

この本は世界の様々な分野における上位と下位の国を紹介する本です。地理の学習に役立つかもしれません。



『世界の国 1位と最下位』
著：眞淳平 岩波書店

活動の目的

南箕輪村では、7か月児相談時に「ファーストブック」を、3歳児健診時には「セカンドブック」をプレゼントしています。子育ての忙しい時期に、絵本を介しての喜びの共有を体験してもらうことを目的としています。

具体的な活動

- ① 「ファーストブック事業」
保健センターで実施する7か月児相談時に、絵本を1冊お渡ししています。
- ② 「セカンドブック事業」
保健センターで実施する3歳児健診に、絵本を1冊お渡ししています。

子どもの様子

- ・ファーストブックプレゼントの時は、保護者の方が「どれがいい？」と赤ちゃんに話しかけて、お子さんの反応を見ながら絵本を選んでいきます。
- ・セカンドブックプレゼントの時は、子どもが「これがいい！！」と自分で選ぶまで成長しています。保護者の方と「お母さんはこれがいいなあ」とやりとりしている様子もほほえましいです。



保護者の声

- ・子どもも私も絵本が好きなので、絵本をもらえることはとてもうれしいです。
- ・きょうだいで同じ絵本を選びました。なじみのある絵本が子どもは好きなんですね。

プレゼント本の一部



『くだもの』
作：平山和子 福音館書店



『きんぎょがにげた』
作：五味太郎 福音館書店



『ぞうくんのさんぽ』
作・絵：なかのひろたか レ：なかのまさたか 福音館書店

♪未就園児親子のスキンシップいっぱいのおはなしむら♪

活動の目的

南箕輪村図書館では、未就園児親子にわらべうたと絵本の読み聞かせのおはなし会を実施しています。スキンシップとともに歌や言葉になじみ、親子で喜びあう体験を通して、幼い頃から読書に親しむきっかけになることを目的としています。

具体的な活動

月に2回村民センター和室で実施。0, 1 歳児と2, 3 歳児と時間を分けて行っています。「にんどころ」、スカーフを使う「じーじーばー」などのわらべうたを楽しんだ後、図書館司書が絵本の読み聞かせやパネルシアターを行っています。

子どもの様子

・回数を重ねるごとに、子どもたちはわらべうたを覚え、くすぐるところでは笑顔になり、逃げまわる子もいます。身体をゆらしリズムをとったり、言葉を発したり表現はさまざまです。最初は親子だけでのふれあいが、次第に子ども同士でわらべうたを楽しむ姿も見られます。



保護者の声



- ・（3歳児の母）3歳と1歳のきょうだいで毎回参加しています。回を重ねるにつれて、リズムにあわせて身体を動かしたり、そのうちにわらべうたを歌うようになりました。
- ・この間は家で「お父さんに聞かせてあげる♪」と、二人でわらべうたを父親にやってみせていました。1歳の子が姉の真似をしてやっていて、おどろきました。

図書館の声

・ここ数年お父さんの参加も時折みられるようになり、とても嬉しく思っています。コロナ禍で中止することもありましたが、こういう時だからこそ言葉あそび、スキンシップもできる「わらべうた」の必要性を感じています。イベントを通じて、親子で歌をうたい、絵本を楽しむ体験を読書へつなげていけるような取り組みを今後も広げていきたいです。

【3歳児未満児の保護者の方たち】

♪ 絵本と同じ動きをします ♪

○『だるまさんが』『だるまさんと』（かがくいひろし ブロンズ新社）が大好きで、親がまだ寝ている時なのに持ってきて読んでと渡してきます。読んであげると、その絵本と同じ動きをしてとても楽しんでます。

♪ もういっぱい読んで！ ♪

○子どもと絵本を読みながら歌を歌ったり、子どもが大笑いしながら「もういっぱい読んで！」と言ってくれました。

♪ チーターになりきって ♪

○『タタタタ』（りとうようい 鈴木出版）という絵本に出てくるチーターがサバンナを走っている様子が気に入ったようで、自分も両手を床につき、チーターになりきっていました。「チータータタタタ」というと片足を高くあげ、自分もチーターと同じように走っているつもりで、とても笑顔でした。それ以来動物の絵本をよく借り、娘のまねっこも含めて家族で楽しむようになりました。

♪ 兄弟で楽しんでいます。祖父母とも ♪

○保育園から借りてきた本を読んでいると（2歳児に）一緒になって反応してくれたり、言葉を覚えたりしていきます。また近くにいる0歳児も興味を示していて、兄弟で楽しめて良いです。祖父母に読んでもらったりして、祖父母との時間が出来ています。

♪ 自分が子どもの頃に大切だった絵本を ♪

○私が子どもの頃より大切にしていた本を、一緒に読むことが出来ています。自身が好きだった物を子どもも好きになってくれて、とても嬉しく感じました。本をとっておいてくれた母にも感謝したいです。

♪ 誰にでも楽しめる絵本でした ♪

○昔からあるシリーズも、母も思い出し、楽しめたり、良かったです。作者を知ることによって、選択肢が広がることが、とても嬉しく思いました。

♪ 楽しい計画ができました ♪

○園で借りてきた『パンどろぼう』（柴田 ケイコ KADOKAWA）の本。主人公のねずみがパンを食べ「まず〜い！」という場面の絵が面白く、何度も「読んで！！」とリクエストされました。また、沢山描かれているパンが美味しそうで「週末はパン屋さんへ行こう！」と楽しい計画も出来、本を通してワクワク感も得られました。

♪ 先生を真似て ♪

○保育園で読んでくれる絵本の内容を覚えて帰ってきて、先生を真似てこちらに見えるように絵本を開いて持ち、こちらに見えるように絵本をめくりながら、読んで聞かせてくれます。字は読めないのですが内容が正確ではないのですが、それがまたとても微笑ましいです。

○「カラフル」（新井洋行 岩崎書店）の絵本ですが、子ども（2才2か月）が読んでくれるようになりました。題名の通りカラフルで色々な形が出てきて、大好きな本の一つです。

♪ 言葉が言えるようになった ♪

○ちようちようの絵本を読んで、ちようちようが言えるようになったので、子どもが言葉を覚えるのに絵本がよい影響になっています。

○『きんぎょがにげた』（五味 太郎 福音館書店）で『あった』という発語が1歳児に出てきた。

♪ 赤ちゃんの頃から ♪

○友人から出産祝いに絵本をいただきました。赤ちゃんの頃からこの絵本が大好きでたくさん読み、文字が読めるようになった最近、自分で読んでみたりして、長く楽しめる絵本でした。

♪ 子どもの反応が楽しみ ♪

○毎晩、寝る前に本を読んでいます。元気になる内容の本は子どもも元気になり、しつけ関係の本はお返事したりと、本の内容を理解して楽しんでいるんだなあと感じ、私も本の内容はもちろん子どもの反応も楽しみながら読んでいます。

♪ 子どもの成長を感じた ♪

○『ペンギンたいそう』（齋藤 惺 福音館書店）という絵本を読んだ際に、読んだ動きを子どもが実際にやり始めたのを見て、子どもの成長を感じたと共に、読むことが楽しくなりました。

♪ 学校の先生のおすすめで ♪

○学校の先生のおすすめで買った絵本はちょうどこの時期で、『十二支のはじまり』（岩崎京子 教育画劇）という絵本でした。動物もたくさんでてきておもしろい勉強になります。

♪ 場面を遊びの中に取り入れて ♪

○絵本と同じ様な場面を遊びの中で取り入れて遊ぶと喜んだ。

自分で考えて遊んでいて、発想力がすごく身についていて驚いた。

♪ 保育園で借りた本をおうちでも ♪

○保育園で借りてきてとても気に入った絵本があったので、同じ作家さんの本を購入して家でも読んでいます。

【年少児保護者の方から】

♪ 子どもの質問に答えるために ♪

○『はじめてのなぜなにふしぎえほん』（てづかあけみ 日本科学未来館）子どもは何でも興味を持ち、質問をしてきたことから、書店で買いました。親子で一緒に考えること、話をするということにもつながっていると思います。

♪ 登場人物の名前を子どもの名前で読んでます ♪

○絵本の登場人物を自分に置き換えて読んで欲しがるので、『おやすみロジャー』（カール＝ヨハン・エリオン 飛鳥新社）で子どもの名前を登場させたら、大喜びで「読んで」と言ってくれました。

○出てくる動物や主人公など、子供やママ、パパ、など身近にいる人の名前に変えて読んだら盛り上がりました。

♪ 最初は読んでも全く興味がなかったのですが ♪

○絵本を小さい頃から読んでなく、最初は読んでいてもすぐどこかへ行ったり全く興味がなかったのですが最近是一緒に図書館へ行き自分の好きなのを探し「これ読むー」と渡して来たりして、夜ほとんど一緒に見たり、読んでいます。

♪ 車の図鑑の楽しみ方 ♪

○『トミカシールあそび図鑑』（講談社）の本。トミカの名前を言いながら一緒に探したり楽しみました。

♪ 選ぶ楽しみ ♪

○お気に入りの絵本に図書館で出会うと、何回もリピートして借りています。図書館では選ぶ楽しみを見つけたようです。その中で特に気に入っていた『ふみきりかんかんカーン』（視覚デザイン研究所）は書店でも購入、言葉の出始めたことから、一緒に楽しんだ絵本です。本のある生活、私自身も大好きです。

♪ 絵本による家族の時間 ♪

○『おにやけ』（大塚健太 柴田ケイコ パイインターナショナル）という絵本が大好きで、村の図書館でよく借りていた為、家でも購入し毎日楽しめるようにしました。くり返し読み聞かせするうちに、今度は父親や弟に読んであげるようになり、聞き手も読み手も楽しむことができ、充実した家族の時間を過ごすことができました。

♪ 家族みんなのお気に入り ♪

○『バムとケロシリーズ』（島田 ゆか 文溪堂）に出会ってから、家族みんな（大人も子どもも）のお気に入り。絵も素敵だし、お話もおもしろい。何度読んでも笑顔になれる絵本。年齢に応じてか目の付けどころが違っておもしろい。

♪ 読み聞かせをしてくれます ♪

○子どもが読み聞かせをしてくれるようになった！年長の上の子はひらがなを頑張って読んで、最初よりもスラスラ読めるように…。下の子（年少）は覚えているフレーズに少しアレンジも加えながら…一所懸命読んでくれます。

○大好きな絵本は何度もくり返しよみます。そのうちに内容を覚えて、今度は逆に「よんであげる」と言って、先生のマネをしながら読み聞かせをしてくれます。その姿がとても愛らしいです。

♪ 小さい頃から大好きでした ♪

○『いないいないばあ』（松谷みよ子 瀬川康夫 童心社）や『だるまさんが』（かがくいひろし ブロンズ新社）が小さい頃大好きでした。動物さん達がいはいはい…ばあ！！でページをめくったときに一緒に「ばあ」をして笑っていたり、だるまさんの動きをマネてどてっとしたりしていたのを覚えています。

♪ おじいちゃんおばあちゃんの読み聞かせ ♪

○祖父母の家に泊まりに行くと、「ノンタン」（キヨノ サチコ 偕成社）シリーズが全てあるので、一度に全部読んでもらうのが楽しみなようです。祖父母も読み聞かせできるのが幸せなようです。

♪ 好きな本を子どもにも ♪

○レオレオ二の作品が好きです。自分が好きなので、もし自分にできたら子どもにも読んであげようと思った。

○『14ひきのあさごはん』（いづむらかずお 童心社）など、私の子どもころからある絵本も多く、なつかしく読みました。

♪ 興味津々でした ♪

○『みんなでいえをたてる』（竹下 文子 鈴木まもる 偕成社）を図書館から借りて読んだところ、自分の家が立つ状況と似ているね、と興味津々でした。

○わんぱくだん（ゆきの ゆみこ 上野 与志 末崎 茂樹 ひさかたチャイルド）が大好きでよく読んでいます。わんぱくだんの3人の名前を覚え楽しそうにページを見て、何回も読んで！！といい時間になっています。

♪ 読むきっかけに ♪

○毎週、保育園で絵本を選んで借りてくるので、読むきっかけになっている。その時々で選ぶ本が一緒に食べたものやしたことなどの内容で記憶力があるなあとおどろかされる。

【年中児保護者の方から】

♪ 絵本を読んだ翌朝のほっとけーき ♪

○『こぐまちゃんのほっとけーき』（わかやまけん こぐま社）こぐまちゃんの作るほっとけーきがフワフワでおいしそう！この本を読んだ次の朝は、「ホットケーキ作るー！！」と朝から作ります！！

♪ 親も勉強になります ♪

○「からだのふしぎ」という本にはまっていて、けがはどのようにして治るのかとか、すごく興味があるようで、親も勉強になる子どもと一緒に楽しく読んでいます。

♪ こんな風に旅したいなあ～ ♪

○『バムとケロの空のたび』バムとケロが飛行機に乗って、おじいちゃんの家まで、様々な場所を旅する絵本が大好きで、こんなふうに旅したいなあ～と、読むたびに言っています。

♪ 大人も子どもも大好き ♪

○ヨシタケシンスケさんの絵本が、大人も子どもも楽しく読めてとても好きです。図書館で借りていいなと思った本は購入しています。

○『はらぺこあおむし』（エリック・カール 偕成社）絵本を見ながら家族で歌を歌いながら楽しめます。

○親子共々大好きな本は、園でお友達に先に借りられてしまうとゴキゲンナナメになるほどです。

○『せんろはつづく』（竹下 文子 鈴木まもる 金の星社）が好きで、次はどんな線路ができるのか、子どもたちはワクワク楽しみながら読んでいました。大人も一緒に読んでいて、次の展開の楽しさに引き込まれていく楽しい絵本です。

♪ 子どもの発想力 ♪

○『ねぐせのしくみ』（ヨシタケシンスケ ブロンズ新社）を読んでから、朝子どもの髪にねぐせがついていると、夜いなくなってたんだね！とおもしろおかしく話をするようになりました。日常にフィクションが入ってくことで子どものクリエイティブさ、発想力が育っていくのを感じています。

♪ 保育園がきっかけに ♪

○保育園でよく読んでくれるので内容を覚えていて借りてくると内容を教えてください。

○保育園で本を読んでくれる為、内容がよくわかっていて（娘が）よく教えてください。園から持って帰ってくると気に入ってるからか、すぐに「読んで！」と言ってきます。

○毎週末、保育園の絵本貸し出しで借りてくる絵本は「これ、先生が読んでくれて面白かったよ」「この絵本、保育園でよく読んでいる」というものが多く、その絵本を読みながら保育園での生活を想像するのがとても楽しいです。

♪ 家族の話題に ♪

○「ヘンゼルとグレーテル」（グリム B L出版）を家族で読み、お菓子の家作ってみたいね！ここの窓は何で作ったらいかな？屋根はチョコレートかな？と皆で話して盛り上がりました。

♪ ばあばからのプレゼント ♪

○ばあばから、誕生日プレゼントに「長靴下のピippi」（アストリッド・リンドグレン 岩波書店）を貰い、親子で読みました。子供達はピippiの世界にすっかり夢中になり、他のピippiの本は無いの？もっと読みたい！と言って、他のシリーズも借りて来てすぐに読みました。今でも繰り返し読み返す、大好きな本になりました。

母も、久しぶりに読むピippiをきっかけに、作者のリンドグレンへのインタビュー集を読んだり、その生涯を描いた映画を鑑賞し、素晴らしい作品が生まれたその背景に触れることが出来、改めて感動しました。

親子共にとても良い時間を過ごすことが出来ました。きっかけをくれたばあばに感謝です。

♪ 読んでくれたよ ♪

○だんだんひらがながわかるようになってきて、赤ちゃんの時に読んでいた絵本を読み聞かせしてくれました。

○「むれ」（ひろた あきら KADOKAWA）出産祝に頂いた本を気に入り、まだ字を読めないけれど、暗記して母や妹に読んでくれました。

【年長児保護者の方から】

♪ 家族それぞれの読み聞かせ ♪

○いつも保育園で借りてくる絵本は、同じ本を父、母、姉にそれぞれ読んでもらい違いを楽しんでいるようです。

♪ 1 ページでも遊び感覚で楽しんでいます ♪

○『ししにゃいとおしょうがつ』（澤野秋文 世界文化社）この絵本の中におせち料理の中にすずを落としてしまい、すずを探そうというページがあります。ずっと話を聞いているというより、1ページでも遊び感覚で絵本を楽しむことが出来ていいなと思います。娘もこの絵本が大好きです。

♪ 親子で不思議だね ♪

○祖父母に買ってもらったトリックアートの絵本をとて気に入り、何度も読んで楽しんでいました。親子で不思議だね～と話しながら読みました。その後も図書館でトリックアートの絵本を必ず探して借りています。

♪ 大人になった今でも ♪

○本を読むこと、見ることが子どもの頃から大好きです。小中学校の頃は、図書館の先生におすすめの本を聞いて読み、感想を言い合っ、毎週本を楽しんでいました。自分だけでは出会えなかった本を読むこと、先生との交流、とても良い思い出です。大人になった今でも、本を読むことを続けています。

♪ 毎週の楽しみ ♪

○保育園で毎週借りてくる本を自分で選んできているようで、今日はこれにしたよと嬉しそうに見せてくれるのが毎週楽しみです。

♪ 母から私へ私から子へ ♪

○『まどからおくりもの』（五味太郎 偕成社）私が子どもの頃母親に読んでもらっていた本でした。自分が大人になり子供に読みました。しかり絵本を楽しみました。すてきな思い出です。

♪ 兄弟と一緒に ♪

○『パンダ銭湯』（tupera tupera 絵本館）『もぐらバス』（佐藤雅彦 うちの ますみ 偕成社）など書店で買った本をくり返し読むなどしています。兄弟で一緒にきいているので、お互いに楽しいようです。

♪ 大人も感心 ♪

○『ほしじいたけ ほしばあたい』（石川 基子 講談社）シリーズは子どもが大喜びでした。干しいたけを若返らせる所に大人も関心しました。

♪ きらきらした目で ♪

○『わんぱくだんのシリーズ』（ゆきの ゆみこ 上野 与志 末崎 茂樹 ひさかたチャイルド）が大好きで、図書館で借りてよく読んでいます。最後のページまでキラキラした目で見ている、私も読んでいて嬉しくなります。

♪ みんなで ♪

○家族で、みんなで読むことがとても楽しいです。
